

2020年1月30日

報道機関各位

いわぎん事業創造キャピタル株式会社

「いわぎん農業法人ファンド」による投資について

いわぎん事業創造キャピタル株式会社（代表取締役社長 稲垣 秀悦）は、株式会社岩手銀行と株式会社日本政策金融公庫が共同で組成した「いわぎん農業法人ファンド」の投資先として、畜産業（和牛繁殖）を主業としている株式会社重次郎（本社：岩手県雫石町、代表取締役 中屋敷 敏晃）に出資を行うことを決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

中屋敷社長は盛岡市内のホテルに7年間勤務した後、2004年に母牛を1頭購入して和牛の繁殖事業を個人で創業し、株式会社重次郎への法人化を経て、現在では180頭規模の母牛を繁殖するまで規模を拡大しています。

当社はジャージー牛と黒毛和牛の交配種である「ジャー黒牛」を生産する等ユニークな肥育経営を取入れ、中屋敷社長がホテルマンとして培ったビジネス感覚や視点で新たな畜産経営を実践して、持続可能な畜産業の実現を目指しており、「いわぎんグループSDGs宣言」の趣旨に合致するとともに、今後の事業成長が期待できることから、出資を決定致しました。

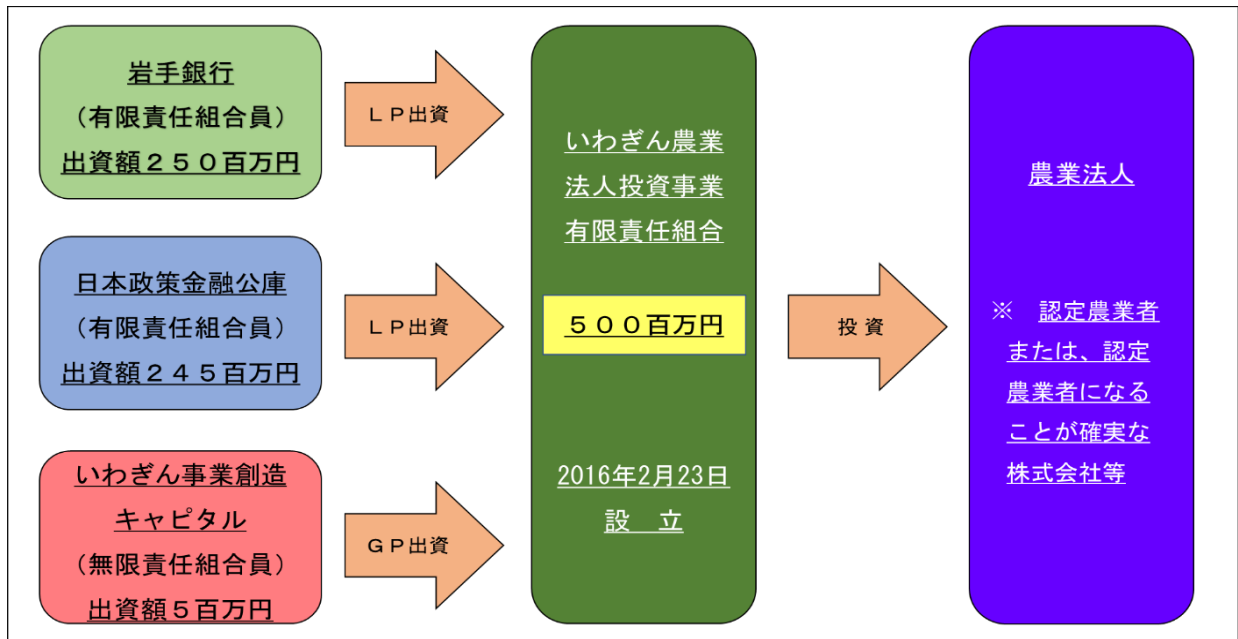
記

1. 投資決定先の概要

企 業 名	株式会社 重次郎
代 表 者	代表取締役 中屋敷 敏晃
本 社 所 在 地	岩手県岩手郡雫石町上野新里5番地4
設 立	2013年4月
事 業 内 容	畜産業（和牛繁殖）
出 資 額	40百万円
出資金の使途	運転資金
出 資 形 態	無議決権優先配当株式引受
企 業 の 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社では早期母子分離哺育と適性授精の実施等により、岩手県における黒毛和牛の平均分娩間隔目標である380日を達成しており、効率的な和牛繁殖経営を実現している。 ・ 牧草のほとんどを自社で生産する一方で、新たに飼料用大豆の栽培にチャレンジする等、輸入飼料に依存しない畜産業を目指している。

2. ファンドの概要

名 称	いわぎん農業法人投資事業有限責任組合	
ファンド総額	500百万円	
設 立 日	2016年2月23日	
出 資 者	株式会社岩手銀行	250百万円
	株式会社日本政策金融公庫	245百万円
	いわぎん事業創造キャピタル株式会社	5百万円
運 営 期 間	約15年	
投 資 対 象	岩手銀行営業エリア内の認定農業者または認定農業者として認定を受けることが確実な農業法人で、株式会社（特例有限会社を含む）形態の組織	

3. ファンドのスキーム図


以 上

○ 「SDGs」について

SDGsはSustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際社会全体で取り組むべき目標です。

2030年を目標年として「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」等、国際社会共通の17のゴール（目標）とゴールごとに設定された169のターゲット（個別目標）から構成されています。

<本件に関するお問合せ先>

経営戦略室 高橋 TEL：019-621-1470